

# 2024年度事業報告書

特定非営利活動法人リベルタ学舎

# 2024年度 総括

## I. 総括

2024年6月21日に特定非営利活動法人として設立し、様々な事業にチャレンジした1期目となりました。

9月には代表理事の変更という決断があり、新たな体制で事業を推進することとなりましたが、メンバー間の連携を強化しつつ、年度当初には計画していなかった受託事業へのチャレンジや、プロジェクトベースではなくリベルタ学舎そのものを支えていただく主旨のマンスリーサポーターの募集も行いました。

行政からの委託事業については、神戸市からの事業として「女性の起業環境整備事業S-Wing!」、「学生等による農業支援及び規格外農産物等の活用に向けた実証業務」、「校庭を活用した外遊び業務」を受託、兵庫県からは「中高生による地域課題チャレンジプロジェクト」を受託し、事業を遂行しました。

また、助成金の活用も進め、「KOBE里山SDGs事業助成」を受けて、神戸市西区小池農園でのコメン88事業を推進することができました。

協働事業としては、株式会社マックMAQ Inc.からの委託を受け「ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業」や山賊ワイルドラン実行委員会のメンバーとして、山賊ワイルドランを実施しました。山賊ワイルドランでは、継続して神戸学院大学菊川ゼミ、やまもりサーキットの大谷氏やみどりカフェの内田氏と協働して実施することができました。

若者をはじめ、「誰もが、やりたいことが実現できる社会」を目指した活動は、その一つ一つが種まきのような一歩であったかもしれませんが、これからも多くのサポーターやメンバーとともに歩みを強めていきたいと思えます。

## II 財務状況・事業規模

行政からの大きな委託事業があった反面、精算払いとなる金額も大きく、年度途中にはキャッシュフローが厳しくなったことからつなぎ融資を実行することとなりました。この融資については年度末に行政からの委託費が予定位通り納入されたことにより完済をしています。が、事業規模の小さなNPOとして十分な積立資金がない中で大きな事業を受託することの難しさも露呈しました。今後は委託事業のみではなく、自主事業も拡大していくことで事業・財務のバランスをとっていくことが求められます。

# 2024年度 各事業報告

## < 受託事業 >

### 1. 女性の起業環境整備事業運営業務（S-Wing）

【委託者】 神戸市経済観光局新産業創造課

#### 【事業概要】

本プロジェクトでは以下の目的を定め、事業を実施しました。

- ①多様なキャリアの1つとしての起業に関心がある女性がロールモデルとなる先輩起業家や仲間と出会う機会を提供する
- ②起業予定及び起業家に関しても、互いに相談し合い、高めあえるコミュニティを形成する
- ③それらを既存の起業支援機関及び市内のスタートアップ等の様々なステークホルダーとも連携することで、多くの方に機会を提供し、まち全体で女性の起業家をサポートする仕組みを構築する

上記の目的を達成するべく、起業関心層（スタートコース）と起業済み層（アクセルコース）の二つのコースに分けて女性起業家の課題や要望に即したメンターの選定、ステークホルダーとの協業、セミナー等を実施しました。

#### 【プロジェクト実施内容】

- ・ 起業・経営基礎講座の開催  
日時：2024年7月15日（月・祝）13:30~17:30  
会場：神戸新聞社会議室  
形式：対面・zoom配信・後日動画配信  
参加者：起業に関心のある方、先輩起業家、支援者、合計121名
- ・ スタートコース向け伴走型プログラムの実施  
内容：3回の対面セミナーと、3回のオンラインフィードバックを交互に実施  
対象：火曜17名（最終12名）、土曜16名（最終9名）
- ・ アクセルコース向け伴走プログラムの実施  
内容：先輩起業家座談会と、3回のオンライン個別メンタリングを実施  
対象：10名（最終9名）

- ・協力支援団体との連携

内容：2回の交流会、日本政策金融公庫による個別相談会、ファイナルピッチを始め本事業のイベントへの参加を促しました。

- ・オンラインコミュニティの管理運営

内容：スタートコース、アクセルコースともにSlackでチャンネルを作成、昨年度のS-Wing! 受講生にコミュニティマネージャーとして参加してもらい、都度話題の提供や共感などのコメントを投稿することでオンライン上でのコミュニティの活性化を図りました。

- ・オンラインピッチ及びファイナルピッチイベントを開催

日時：2024年12月21日（土）14:00~17:00 計3時間

会場：起業プラザひょうご

参加者：30名

- ・市内支援の把握、コース参加者からの意見聴取と事業効果の測定

本プロジェクトでは、上記の取り組みによって、神戸市を拠点に活動する女性起業家及び潜在女性起業家を確認するとともに、女性達の事業化及び事業拡大に一定の貢献を果たしたと考えられます。また、起業を志す潜在女性起業家を継続的に確認、把握することや、支援団体及び支援期間の継続的な連携など課題も明らかになりました。今年度の事業を通じて形成されたオンラインコミュニティや支援団体及び支援事業者のリストなどの資産を活用しながら、今後更なる支援体制の拡大を行うことで、神戸を拠点に起業し、世界に羽ばたく女性起業家が多く育つコミュニティの形成に繋げていく必要があると考えます。

## 2. 中高生による地域課題解決プロジェクト

【委託者】兵庫県阪神南県民センター

### 【事業概要】

今回のプロジェクトでは、中高生たち自身が身近な課題を発見し、それを解決するためにワークショップを行い、そのプロセスと現時点での提案を11月16日に開催された阪神地域みらいづくりフォーラムにて発表しました。

ワークショップでは、学校チーム、まちづくりチーム、物流チーム、政治対話チームという4チームに分かれて、それぞれのテーマに基づいて対話を重ねました。またワークショップには専門的な知見を持つゲストを招き、中高生が考えるプロジェクトを深めるヒントを得られるように設計しました。

今回のプロジェクトにおいて、中高生自らが新しい気づきや学びを得たことは間違いありませんが、サポーターとして関わった大学生やリベルタ学舎のスタッフ、県や市の職員という大人たちにとっても刺激を与えられ、ともに未来を作っていく仲間となったことも大きな成果であると考えています。

今後も中高生が多様な大人とともにチャレンジする内容を考え、磨き、そして実践へ移すところまで伴走できる機会が大切になってくると感じています。

#### 【プロジェクト実施内容】

- ・実行委員会キックオフミーティング  
日時：6月22日（土）16～18時 会場：リベルタ学舎オフィス 参加者：中高生5名
- ・実行委員会  
日時：7月7日（日）17～18時 会場：オンライン 参加者：中高生4名
- ・全体キックオフイベント会場下見  
日時：7月9日（火）16～17時 会場：共創書庫136g 参加者：中高生3名
- ・神戸新聞社取材訪問  
日時：7月16日（火）15～16時 会場：神戸新聞社阪神総局 参加者：中高生3名
- ・実行委員会  
日時：7月24日（水）18～19時 会場：オンライン 参加者：中高生4名
- ・全体キックオフイベント「未成年ホンネのBAR」  
日時：7月27日（土）14時半～16時 会場：共創書庫136g 参加者：中高生7名  
ゲスト：小木曾稔氏（株式会社政策渉外ドゥタンク・クロスボーダー）
- ・実行委員会  
日時：8月18日（日）14～15時 会場：リベルタ学舎オフィス 参加者：中高生4名
- ・DAY1会場下見  
日時：8月20日（火）9時半～10時 会場：AMA-NEST 参加者：中高生2名
- ・ワークショップDAY1  
日時：9月8日（日）10～17時 会場：AMA-NEST 参加者：中高生12名、サポーター4名
- ・実行委員会  
日時：9月15日18～19時 会場：オンライン 参加者：4名
- ・オンラインミーティングDAY1.5  
日時：9月26日（木）18時半～19時半、9月27日（金）18時半～19時半  
会場：オンライン 参加者：中高生8名、6名
- ・ワークショップDAY2  
日時：10月6日（日）9時半～16時半  
会場：リベルタ学舎オフィス 参加者：中高生8名、サポーター3名  
ゲスト：三浦一郎氏（プラハ日本人学校教諭）、古塚明日人氏（西宮香風高校教諭）

・ワークショップDAY3

日時：10月20日13時半～16時半

会場：西宮商工会議所 参加者：中高生10名、サポーター3名

ゲスト：水口怜斉氏(経済産業省)、高島芦屋市長、兵庫県職員、尼崎市職員、芦屋市職員

・ワークショップDAY4

日時：11月2日13～16時

会場：打出教育文化センター 参加者：中高生9名、サポーター1名

ゲスト：高島芦屋市長、兵庫県職員、芦屋市職員

・阪神地域みらいづくりフォーラム

日時：11月16日(土) 13～16時半

会場：アルカイクホールミニ 参加者：中高生10名、サポーター3名

### 3.学生等による農業支援及び規格外農産物等の活用に向けた実証業務

#### 【委託者】

神戸市経済観光局農水産課

#### 【事業概要】

神戸市内の農業分野における学生等の就労機会の創出、学生等による農業支援および規格外農産物等の活用を推進するため、神戸市経済観光局農水産課からの委託を受け、リベルタ学舎として下記の業務を行いました。

(1)全体マネジメント及び学生等と生産者の調整業務

(2)学生等の農業支援業務

(3)規格外農産物等の活用業務

具体的には、応募のあった学生との面談を踏まえ、5つのチームを構成し、各チームにコーディネーターを配置することによって、学生とコミュニケーションを密にし、農家の方々との連携もスムーズにいくように考えました。

また単なる農作業支援に終始するのではなく、規格外野菜の活用や農家さんの困りごとへの対応策を検討し、実践するところまで進めるよう工夫しました。

11月に中間報告会を開催したことにより、チーム間でのメンバー交流や、規格外野菜の交換なども行われるようになり、プロジェクト全体としての推進力も高まりました。結果的にゆめファームチームは企業との連携により、規格外のトマトを活用したカレーの商品化と販売まで進めることができました。

一方で短期のプロジェクトであったため、今後どのように継続していくことができるかという課題がありましたが、後述のように2025年度以降もいくつかの助成金などを組み合わせることによって学生主体の活動を継続していきたいと考えています。

## 活動実績

	農園名	コーディネーター	学生数	農業支援の活動内容	農産物等の活用内容	活動時間合計
A	鶴田農園	土井実桜	5名	整地・収穫等	出店販売	770時間30分
B	小池農園	大福聡平	4名	整地・収穫等	行事企画	794時間35分
C	澤田農園	山下和希	4名	整地・収穫等	冊子作成	581時間54分
D	kobe cabbage	江副真文	7名	整地・収穫等	WEB制作	1513時間33分
E	ゆめファーム	土井仁吾	5名	整地・収穫等	カレー開発	701時間15分
合計			25名			4361時間47分

本プロジェクトの目的の一つに物価高などにより生活に困窮する学生を支援するということがあり、給与や交通費を支給することができました。しかしながら単年度事業となり、プロジェクト終了に伴い、農業への関わりを継続する場合、無償ボランティアになってしまうことにより離脱する学生が多くなることが予想されます。継続して農業に関わりたいという学生もいる中、何かしらの手当を検討する必要があると考えます。

リベルタ学舎としては、継続希望の学生を中心に、「学生プラットフォーム」を4月から立ち上げ、様々な企画を学生が主体となって設計していきます。これは大学生がより日常的にリベルタ学舎とつながり、農業に加えて中高生などの若者支援活動などを企画していく場にもつながると考えています。これらの企画の一つとして、本事業の後継版を立ち上げることを考えており、すでに各種助成金の申請なども始めています。単独の助成金では事業継続が難しく、複数の助成金を組み合わせることを想定しています。しかしながら、複数の助成金を組み合わせたとしてもコーディネーターへの謝金と学生の交通費を支給することしかできず、学生への給与支給という課題は残ったままとなってしまいます。

一方、全国的な課題と同じく、神戸市内の農家の高齢化や後継不足は深刻であり、現時点で何らかの施策を立て、実施していくことが必要と考えられます。今回のプロジェクトで得た経験をもとに、前述の「学生プラットフォーム」を起点にして、地元企業や大学とも連携しつつ、産官学民の持つ力を掛け合わせて、学生と農家が定期的、継続的に関わるスキームを構築し、神戸市の農業関係人口の増加やひいては全国に波及していくことを目指したいと思えます。

## 4.校庭を活用した外遊び業務

【委託者】神戸市中央区役所地域協働課

### 【事業概要】

神戸市では、2023年度に「神戸の子ども居場所フォーラム～子どもが外遊びできる協働の居場所づくり～」を開催していました。そのフォーラムでの意見を踏まえ、中央区内の子

ども達に小学校の校庭を活用した外遊び環境を提供することで、心身ともに健康な子どもの成長を促進するとともに、校庭を活用した外遊び環境の継続的な創出に向けた検討を進めるための実証として今回のプロジェクトが実施されました。

リベルタ学舎ではこうべ小学校での業務を受託し、C.A.P（芸術と計画会議）と協働して、魅力的な外遊びを企画、実施しました。概要については以下ようになります。

児童参加数

2月4日51名、2月18日86名、3月4日中止、3月11日61名、3月18日73名 計271名

活動日時

2月4日、2月18日、3月11日、3月18日の15:00～16:00

#### 【プロジェクト実施内容】

C.A.P.アーティストとの協働により総合遊具を工業用ラップで巻くという新たな遊びが展開できたことは当該コーナーで遊ぶ児童の人数や発言からも良い評価だったと思われました。また、学校の先生方の理解により、校庭で焚き火ができた点やマッチやライターも使わずファイヤースターターで火をつけるようにしたことで「はじめて自分で火をつけられた！」という声や「家で麻紐をほどいて火口を作ってきたよ」という声を聞くことができました。薪割りや木工コーナーに加え、ボール遊びなども自然発生的にできたことも、児童自らが遊びを選択し、遊びこむという姿に繋がったと考えられます。このように多様な遊びが展開できたことは十分な人数の学生スタッフ（各回7名以上）を配置した点にもあったと考えられます。

今後、このような企画がさらに拡充して展開される場合には、リベルタ学舎としても今回の経験や評価を生かして寄与できるものと考えます。

## < 自主事業 >

### 1. エム・シーシー食品様 組織活性化プロジェクト

なりわいカンパニーの業務として参画し、以下の取り組みを行いました。

#### 【プロジェクト実施内容】

月1回の頻度で継続的にキラッシーミーティングを開催し、課題に対する対策の検討を進めてきました。2024年5月、8月、10月に開催されたキラッシーミーティングではリベルタ学舎のメンバーがファシリテーターとして参加させていただき、主に社員アンケートの企画及び分析結果の共有を行いました。

社員アンケートは2024年7月に実施しました。分析結果は「アンケート社内報」として冊子にまとめ、全社員の皆様に配布、共有されました。

上記のアンケート結果を受け、組織活性化をさらに加速させるための提案として、提案書を作成し、12月24日に開催された役員会にてプレゼンテーションを行いました。この席上で、これまで非公式組織であったキラッシーを2025年度には公式な組織としてアサインされることが承認されました。

2025年度も組織の外部からの視点を大切にして、よりよい提案を行い、組織活性化を加速させられるようにと考えています。

## 2. コメーン88

リベルタ学舎の農業チームであるコメーン88として、以下のような活動を行いました。2024年度のリベルタ米の収穫量は430KG、初めての収穫となったプリンセスサリーは40KGとなりました。はまた、リベルタ米については、新たにスタートしたマンスリーサポーター募集の返礼品として活用することとなりました。

### 【プロジェクト実施内容】

- ・5月12日 たけのご堀りとメンマづくり
- ・6月2日 田んぼの耕転
- ・6月16日 田んぼの水入れ
- ・7月7日 田んぼの草刈り
- ・7月21日 肥料まき
- ・8月18日 田んぼの草刈り
- ・10月6日 田んぼの草刈り
- ・10月27日 稲刈り
- ・11月17日 フロンティアの草刈り

## 3. マンスリーサポーター募集

より多くの方々とともに運営するNPO法人を目指して、新たなチャレンジとしてマンスリーサポーターの募集を行いました。

### 【プロジェクト実施内容】

- ・第一弾として募集強化月間を11月25日～1月31日と定めてコングラントの寄付サイトを立ち上げました。結果的には23名のマンスリーサポーターを得ることができました。これにより毎月およそ28,000円の寄付収入を得られるようになりました。
- ・3月からはマンスリーサポーターに加え、単発寄付もできる寄付サイトを立ち上げました。これにより、今後、プロジェクト毎の寄付者の獲得を推進できるように考えています。
- ・マンスリーサポーターや単発の寄付者については、返礼品として寄付額に応じて、リベルタ学舎が制作した山賊カレーやリベルタ米を送付することとしました。これについては寄付

者がSNSでマンスリーサポーター制度のことや返礼品についてポジティブな投稿をするケースも生まれており、リベルタ学舎の理念や活動を広報する役割にもつながってきました。

## < 協働事業 >

### 1. ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業

【委託者】 株式会社マック MAQ inc.

#### 【事業概要】

本プロジェクトでは、まちづくりや子育て支援、観光振興など、地域づくり活動を通して兵庫を元気にしている人物・団体など、多彩な兵庫の魅力を紹介することを通じて、ふるさとへの誇りや愛着の醸成につなげ、“参画と協働”の輪を広げるインターネット情報誌「ふるさと兵庫“すごいすと”」を制作する事業に取り組みました。

リベルタ学舎としては対象となるすごいすとへの取材を通してWEBへ記事を掲載することに加え、音声メディアとしてポッドキャストの制作にもチャレンジしました。また、タブロイドを制作、発行しました。

加えて、すごいすと県民の交流の機会だけでなく、すごいすと同士が交流する機会も企画しました。

#### 【プロジェクト実施内容】

- ・新規取材（すごいすと4名、CO-COすごい3団体）  
再取材（すごいすと7名、CO-COすごい1団体）

- ・すごいすとと県民の交流会  
日時：2024年9月14日（土）14：30～16：00  
会場：AMA-NEST（アマネスト）

- ・すごいすと同士の交流会  
日時：2025年2月15日（土）13:30～16:00  
会場：fabbit神戸三宮

- ・すごいすとタブロイド  
Webサイト「すごいすと」の掲載者より抜粋してタブロイド版を制作（3,000部）。

## 2.山賊ワイルドラン

### 【事業概要】

この事業では、以下の2つのポイントを大切に企画実施を行いました。

#### ①地域の多様な人々との交流

観光客がなかなか接点をもつことができない「小学生」や「農家」等との交流を実現しました。前夜祭である「炎の宴」へ、近隣のカフェやB型就労事業者などにマルシェ出店を依頼。地元産野菜の販売や地ビール、丹波篠山地域のジビエを使用した猪肉カレーなど、ここでしか味わえない食に触れてもらえる機会を提供できました。また、創り手から直接買うことで、丹波篠山の隠れた魅力や人とのつながりができ、また会いにきたい、食べにきたいと、再び丹波篠山を訪れるきっかけをつくることができました。

また、丹波篠山市立西紀北小学校に協力いただき3,4年生とワークショップを実施。西紀北エリアの「クイズ」を考えてもらい、当日参加者が丹波篠山の特産品や地元の祭りなどを知ることができる仕掛けを一緒に考えました。

#### ②「山賊の森づくり」を目的に、丹波篠山に再来訪する

本イベントは、年間を通じて丹波篠山を訪れることができる年間プログラムの一つに位置付けており、春は「タケノコ掘り」「野草摘み」「バーベキュー」、冬は「竹林整備を兼ねた、ランコースづくり」を実施しています。本イベントに一度来てたら終わりではなく、「また丹波篠山にきてみたい」と思い足を運ぶことができる機会づくりを行いました。本イベント終了後の12月には、イベントのスタート位置でもあった竹林の整備を行い、参加者が再び集う機会になりました。

5月…企画立案、現地協力団体調整

神戸学院大学菊川ゼミ生とキックオフミーティング

6月…告知・募集開始、プレスリリース

(スポーツ店等へのポスター掲示、SNS広告、ちらし配布)

6月～9月毎週月曜…オンライン打ち合わせ

9月12日(木)西紀北小学校ワークショップ

9月15日(日)事前準備

9月28日(土)～29日(日)当日

## < 補助金・助成金事業 >

### 1.KOBE 里山SDGs活動支援補助金

【事業者】 一般財団法人 神戸農政公社

【プロジェクト実施内容】

本補助金を活用し、小池農園敷地内にある耕作放棄地（通称：フロンティア）の開拓を行いました。はじめに草刈機や耕運機などの機材を充実させることで、作業効率の向上をはかりました。また12月にはこれまでの懸案事項であった老朽化したビニールハウスを半分のサイズまで撤去することにも取り組みました。

2025年度も継続的に実施することで、耕作放棄地を通常の畑として生かすことやファミリープログラムの実施などで活用することができると考えています。

## < トライやるウィークの受入 >

### 1.鷹匠中学校

【プロジェクト実施内容】

・2024年11月1,5,6,8日の4日間で神戸市立鷹匠中学校より、のべ10名の中学2年生を受け入れました。

・活動の実施場所として、伊川谷の鶴田農園を営む鶴田さんにご協力いただき、畑仕事などを体験しつつ、鶴田さんと「日本の農業の今とこれから」についても対話する時間をもちました。